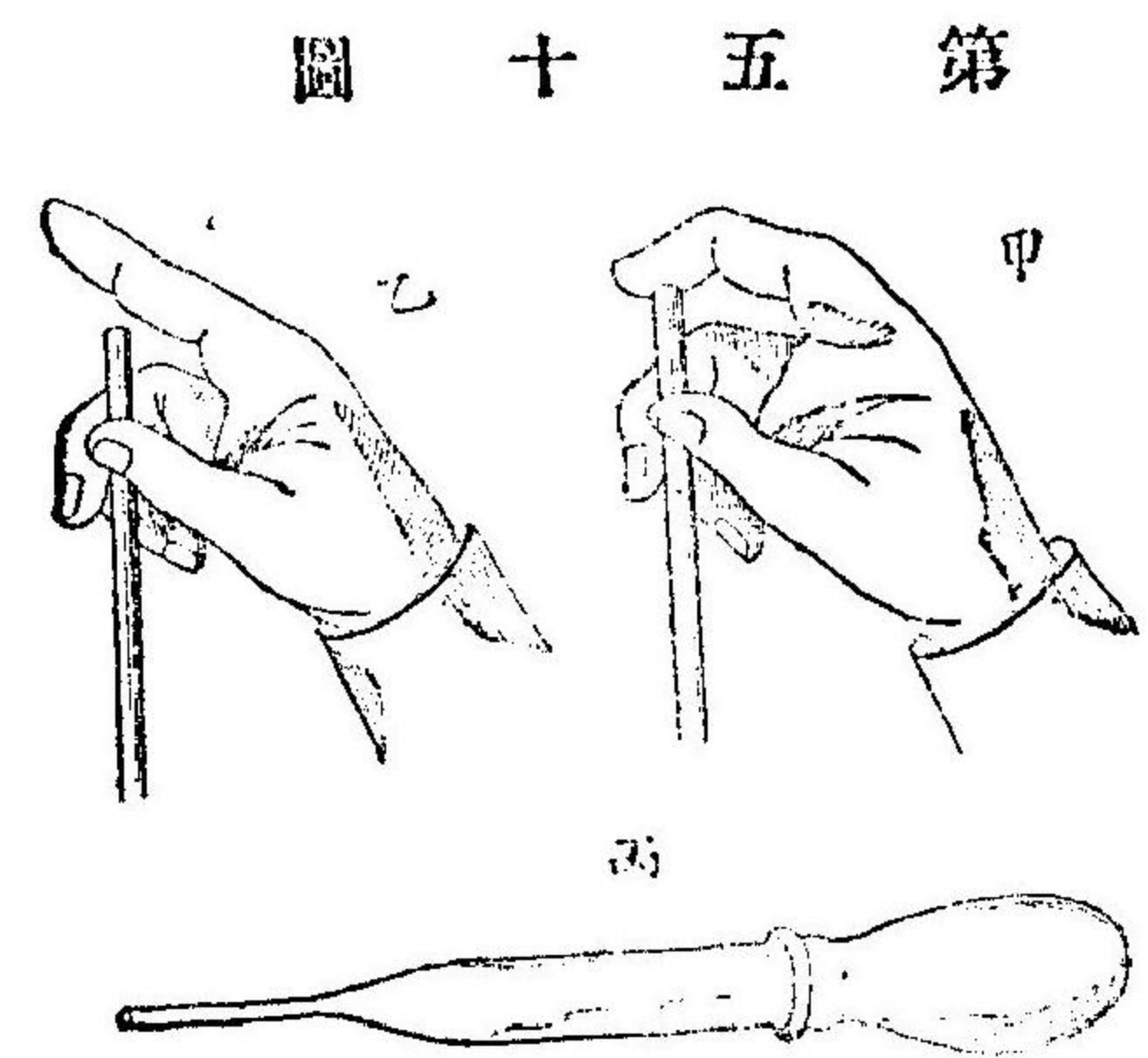


採集法 ひどら屬ヲ除キテハ、皆海産ナリ、ひどらハ池沼、小流ノ浮草、枯草等ニ附着スルモノナリ、故ニ是等ノ草ヲ、水ト共ニ採集シ、之ヲ無型ノこつぶ又ハ他ノ硝子器ニ入レ、暫ク靜止セシムル時ハ、收縮シタルひどらハ觸手ヲ伸出スルニ至ル、是ニ於テびべつと(丙)若クハ硝子管ノ一端ヲ示指ニテ



壓ヘ(甲)他端ヲひどらニ近ヅケ、急ニ示指ヲ上グル時ハ、水ノ侵入スルト共ニひどらモ管中ニ入ルヲ以テ(乙)再ビ示指ニテ管口ヲ塞ギ之ヲ任意ノ器ニ運ビ、示指ヲ上グル時ハ、水ノ流下ト共ニひどらモ出ヅ、總テ水中ノ小動物ヲ選擇スルニハ、此方法ヲ用ウベシ。

第五十圖

くらげ類ハ海面ニ浮游スルモノナレバ、網ニテ靜ニ掬ヒ、之ヲ清キ海水ヲ盛リタル器中ニ移シ、又質脆キモノニ在リテハ特ニ靜ニ網ニテ掬ヒ、之ヲ水中ニ置キ、更ニ桶或ハ鉢ヲ沈メ、海水ト共ニ動物ヲ汲ミ取ルベシ、此類中毒刺胞ヲ以テ劇シク刺撃スルモノアレバ、猥ニ手ニテ捕フベカラズ、あしながくらげかつをのかむり、かつをのゑぼし等ハ刺撃強キ種類ナリ、而シテ是等ノ浮游スル動物ハ、氣候、潮流等ノ關係ヨリ或ハ來リ、或ハ去リ、或ハ浮ビ、或ハ沈ムモノナレバ、一回ノ採集ニテ獲物ナキトモ、決シテ斷念スベキモノニアラズ。ひどら水母ニ屬スルかんばぬらり、せるつらり、つぶらりノ如キハ、群體ヲナシテ海草等ニ固着シ、一見植物ノ如キ觀ヲナス、ほんだわら屬ハ是等ノひどら虫類ヲ數多附着セルモノナリ、又ぼどこりねハ、にし類其他ノ介殼ニ附着ス、

縁膜水母ハ眞正水母ニ比シテ形小ナリ、稍大ナルモノハ、網ニテ採集シ得ベキモ、小ナルモノハ、表面集め(第八章)ヲ行ヒ其獲物中ヨリ選擇スベシ。

標本製作及保存法 ひどらハ其觸手ヲ充分伸出シタル時熱シタル昇汞飽和液ヲ注ギテ之ヲ殺シ、ふおるまりん若クハあるこゝる中ニ保存スベシ。

水母類ニハ、柔軟ニシテ容易ニ保存シ難キモノアリ、みづくらげノ如ク稍固キモノハ海水ヲ入レタル器中ニ置キ濃厚ノふおるまりんヲ、少量宛滴下スル時ハ、動物次第ニ衰弱シテ終ニ死スルニ至ル、之ヲ三乃至四%ノふおるまりん海水溶液ニ保存スルナリ、又體ノ柔軟ナル種類ハ、第二くろゝむ醋酸ニテ固メタル後、保存スルヲ要ス、其他收縮シ易キモノハ、硫酸銅ノ稀薄液ニテ麻醉セシメ、或ハ一%ノおすみつく

酸ニテ殺シ、直ニ三五%ノあるこゝるニ保存スベシ。

管水母類ハ一層保存法困難ナリ、柔キ種類ヲ取扱フニハ、必ズ水中ニ於テ行ヒ、決シテ水ト共ニ、甲器ヨリ乙器ニ移スベカラズ、又動物ヲ入ル、器ハ充分洗滌シテ、酸或ハ苛性ノ痕跡ナキヲ要ス、而シテ硫酸銅昇汞ヲ以テ殺シ、直ニ三五%ノあるこゝる若クハふおるまりんニ移スカ、或ハ種類ニ依リテハ更ニふれむみんぐ液ニテ固メタル後、あるこゝるニ保存スベシ。

ひどら水母ハ、採集シタルモノヲ、直ニ清キ海水中ニ入レ、觸手ヲ伸直シタル時、急ニ熱シタル昇汞飽和液ヲ注ギ、淡水ニテ洗ヒ、あるこゝるニ保存スベシ、ほどこりねハ昇汞醋酸ニテ殺スベシ

尙ホ各種ノ動物ニ就キ其方法ヲ知ラントスル人ハ動物學雜誌第二、三卷ニ掲載セル海産動物保存法ヲ見ラルベシ。

海綿動物

採集及保存法

第七章 海綿動物

採集及保存法 れにゑら、たうなすハ淺海ノ岩石ニ附着スルモ、拂子貝、借老同穴ノ如キハ海底ニ生活スルモノナリ、又軟體動物ノ介殼ニ附着セルモノアリ、淡水海綿ハ淡水ニ産スルモノニシテ、池沼中ニ沈没セル石、竹、木等ニ附着セルモノナリ、通常綠色若クハ暗黒ノ塊ヲナス。

れにゑら、たうなす等ハ干潮ニ於テ容易ニ採集スベキモ、海底ニ在ルモノハ、どれつち其他ノ曳網ヲ用ウベシ、又大風激濤ノ後、海岸ヲ搜索スル時ハ、波濤ノ爲メニ打チ上ゲラレタル、種々ノ海綿ヲ獲ルコトアリ。

外形ヲ保存スルニハ、七〇%あるこゝる標本トナシ、或ハ淡水ニテ充分洗滌シ、之ヲあるこゝるニ移シテ一晝夜ノ後、陰

乾トナス時ハ乾製標本トナシ得ベシ。

表面採集法

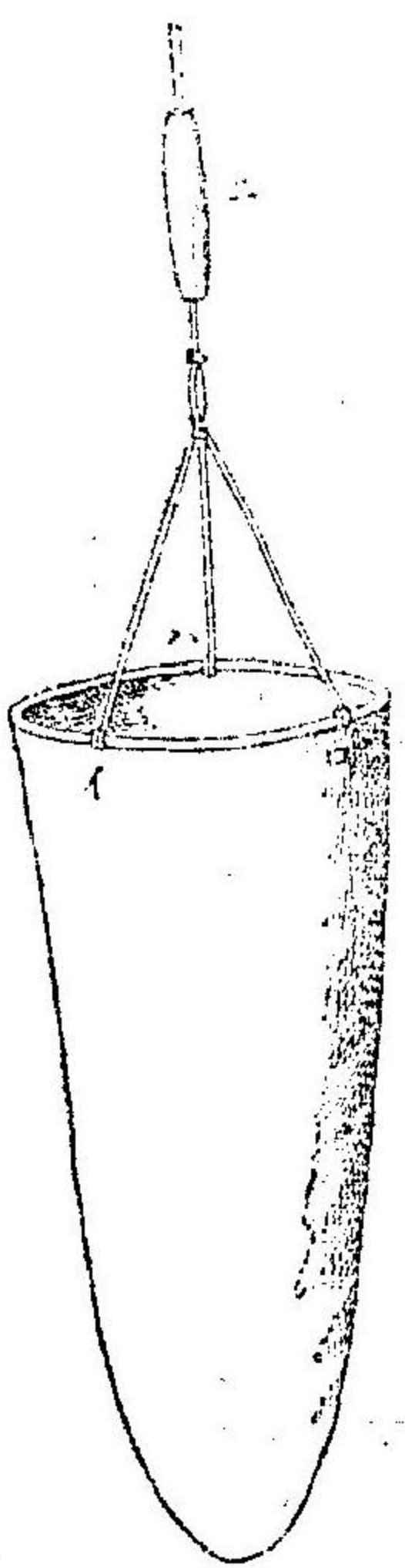
第八章 表面採集法

水中ノ動物ハ其種類ノ異ナルニ從ヒ、表面ニ浮游スルモノアリ、或ハ水底ニ在ルモノ、岩石等ニ附着スルモノアレドモ其一生間ノ某期ニハ表面ニ浮游スルモノ多シ、而シテ是等ノ動物ヲ採集スルヲ**表面採集**ト云フ、之ヲ行フニハ、其季節何レニテモ可ナリト雖、特ニ夏期ヲ良シトス、而シテ日出前及ビ夜中ハ表面ニ浮游スルモノ多ク、晝間ハ稍下層ニ沈ムモノナレバ、拂曉若クハ夜間ニ於テ採集スベシ。

採集網

表面採集ニ用ヅル網ハ、徑一尺、深サ二尺位ノモノニシテ、寒冷紗ヲ以テ製シ、口圍ニハ、金屬ノ框ヲ具ヘ、其三箇所(イ、ロ、ハ)ニ紐ヲ附ケ、以テ水面ヲ曳クノ用ニ供ス、而シテ之ヲ使用ス

圖一十五第



ルニハ、船ヲ徐ロニ
漕ギ、水面ヲ曳クコ
ト四五分乃至十分

間ニシテ、網ヲ上ゲ、注意シテ之ヲ裏返シ、水ヲ盛りタル器中
ニ入ル、時ハ、網中ノ小動物ハ皆游出スベシ、此ク數回反復
スル時ハ充分ノ獲物アルニ至ル。
又網ノ底部ヲ繼合セズシテ、外部ヨリ糸ニテ括リタルモノ
ヲ用キル時ハ、網ヲ裏返スコトナク、只底部ヲ器中ノ水ニ入
レ、糸ヲ解ク時ハ小動物ハ自ラ游出スルヲ以テ、軟弱ノ動物
ヲ損傷スルコトナキノミナラズ、裏返シノ手數ヲ省略スル
コトヲ得ルナリ、而シテ是等ノ網ハ皆表面ノミヲ掬フニ適
セルモノナルガ、尙ホ下層ノモノヲ採集センニハ、第五十一
圖(ニ)ノ如ク鉛錘ヲ紐ニ結付クベシ、然ル時ハ其重量ニテ水

中ニ沈下スルナリ。

採集物ヲ入レタル器中ノ水ヲ、こつぷ若クバ其他ノ硝子器
ニ汲ミ取り、側面ヨリ見ル時ハ、種々ノ浮游セル動物ヲ見ル
ベシ、即チ原生動物、はいどろくらげノ類、棘皮動物、節足動物、
軟體動物ノ幼虫、被囊類ノ成虫及ビ幼虫、矢虫等アリ、而シテ
是等ノ動物中ヨリ要スルモノヲ採取センニハ、水母類ノ條
下ニ述べタル如ク、びべつと若クバ硝子管ヲ用ウベシ。

動物採集保存法終

明治三十五年七月十日印刷
明治三十五年七月二十五日發行

(動物採集保存法)
定價金六拾錢

著者 武田丑之助

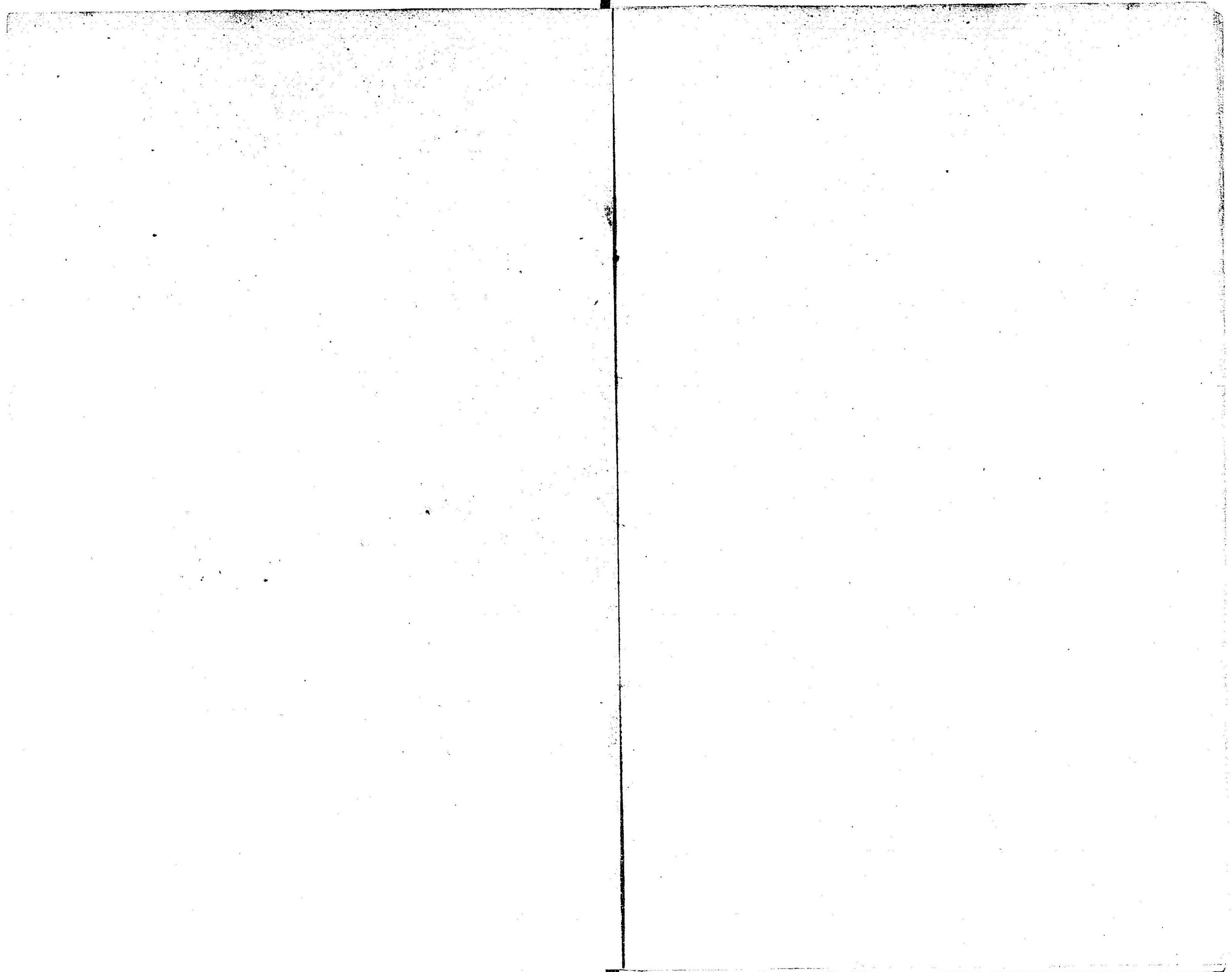
發行者 河出靜一郎
東京市日本橋區通三丁目十番地

發行者 松田愛
京都市二條河原町東入樋ノ口町七番戶

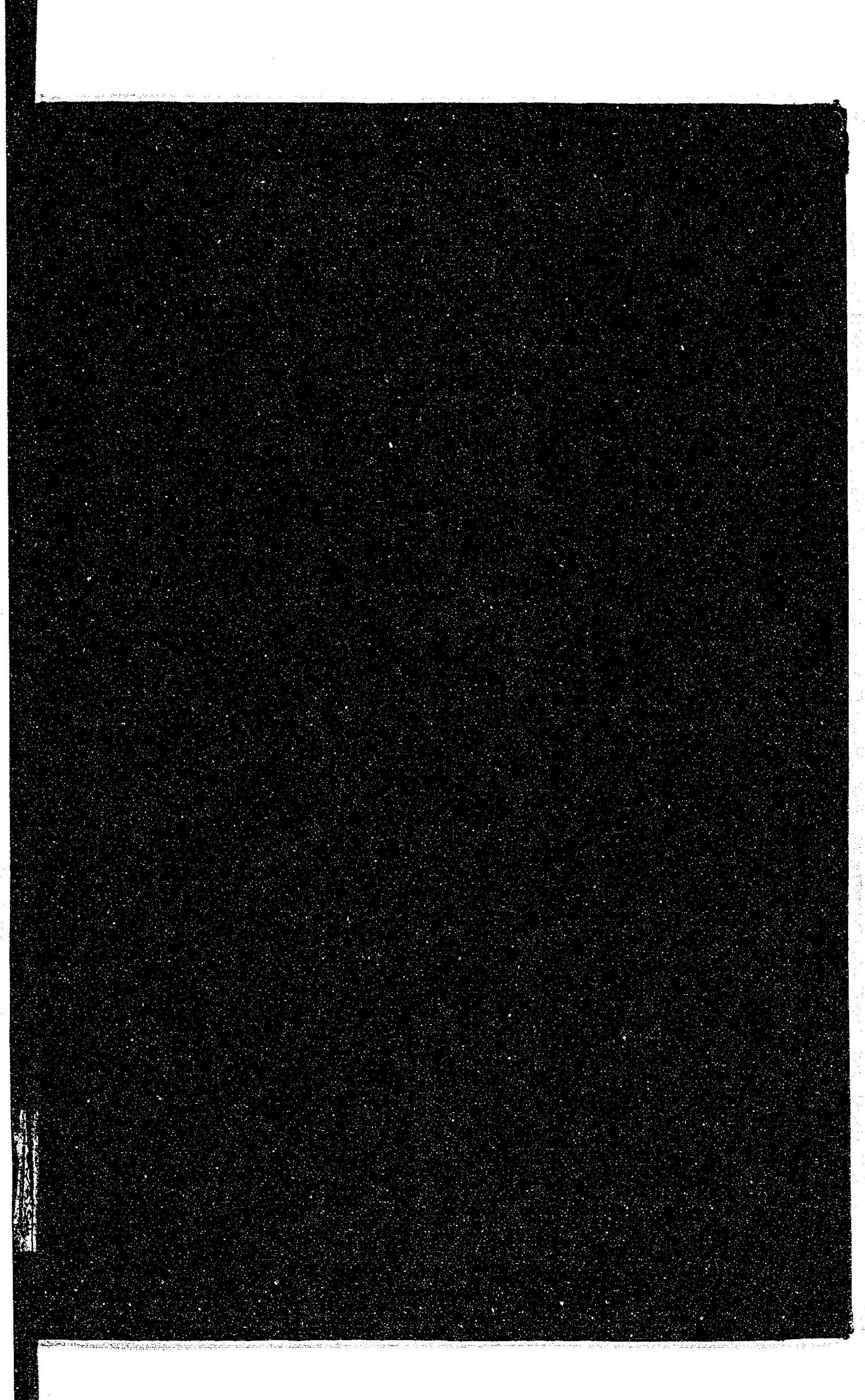
印刷者 大西鍊三郎
東京市麴町區有樂町三丁目一番地

印刷所 三協合資會社
同 京橋區弓町二十四番地

不許複製



93
344





057589-000-9

93-247

動物採集保存法

武田 丑之助 / 著

M35

CAR-0177

